

「建築技術」連載 第①回
SABTEC 高強度せん断補強筋 設計施工指針(2016 年)
本指針の概要および特長

一般社団法人建築構造支援機構
代表理事 益尾 潔

近年、電炉鉄筋の精錬技術の向上と相まって、電炉高強度せん断補強筋の使用が増え、当機構は、これまでにメーカー5 社による高強度せん断補強筋開発の技術支援を行った。それらの設計施工指針は、GBRC 性能証明を取得するか、当機構の建築構造技術審議委員会の SABTEC 技術評価を取得し、それぞれ材料強度の違いを除く基本的な設計規定を同じとしている。

これらより、設計者の利便性を勘案し、メーカー5 社開発の高強度せん断補強筋 設計施工指針原案作成の立場から、それらの共通指針として、SABTEC 高強度せん断補強筋 設計施工指針(2016 年)を発刊した。

以上より、第 1 回の本稿では、「本指針の概要および特長」について執筆し、第 2 回は「損傷短期許容せん断力」、第 3 回は「両端ヒンジ部材とみなせる柱の特別条件」、第 4 回は「基礎梁せん断補強筋のフック付き重ね継手」の執筆を予定している。

(注記)

本稿は、「建築技術」2017 年 3 月号掲載の連載 第 1 回原稿であり、(株)建築技術の了解を頂き、当機構 HP の WEB 講座に掲載したものです。